



JP11195000

Biblio

Page 1

Drawing



## COMPUTER SYSTEM AND START CONTROL METHOD FOR CLIENT COMPUTER IN COMPUTER SYSTEM

Patent Number: JP11195000  
Publication date: 1999-07-21  
Inventor(s): WAKAMORI OSAMU  
Applicant(s): TOSHIBA CORP  
Requested Patent: ☐ JP11195000  
Application Number: JP19970366814 19971226  
Priority Number(s):  
IPC Classification: G06F15/00; G06F9/06; G06F13/00; G06F13/00  
EC Classification:  
Equivalents:

### Abstract

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To flexibly determine a boot file and to easily realize high-safety booting.  
**SOLUTION:** In this system, when a DHCP(dynamic host configuration protocol) packet 16 for requesting a start file is transmitted to a DHCP server 13 at the time of starting a client 15, the packet is transmitted while adding a Jave agent 17. The Jave agent is transferred to the other server while copying itself, agents mutually perform communication, and the information required for start file preparation is acquired. The Jave agent 17 of a boot server 12 prepares the start file from the acquired information.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

Best Available Copy

(19) 日本国特許庁 ( J P )

## (12) 公 開 特 許 公 報 ( A )

(11) 特許出願公開番号

特開平11-195000

(43) 公開日 平成11年(1999) 7月21日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>

識別記号

F I

G 0 6 F 15/00

3 1 0

G 0 6 F 15/00

3 1 0 B

9/06

4 1 0

9/06

4 1 0 B

13/00

3 5 5

13/00

3 5 5

3 5 7

3 5 7 Z

審査請求 未請求 請求項の数6 F D (全 7 頁)

(21) 出願番号

特願平9-366814

(22) 出願日

平成9年(1997)12月26日

(71) 出願人 000003078

株式会社東芝

神奈川県川崎市幸区堀川町72番地

(72) 発明者 若森 修

東京都青梅市末広町2丁目9番地 株式会

社東芝青梅工場内

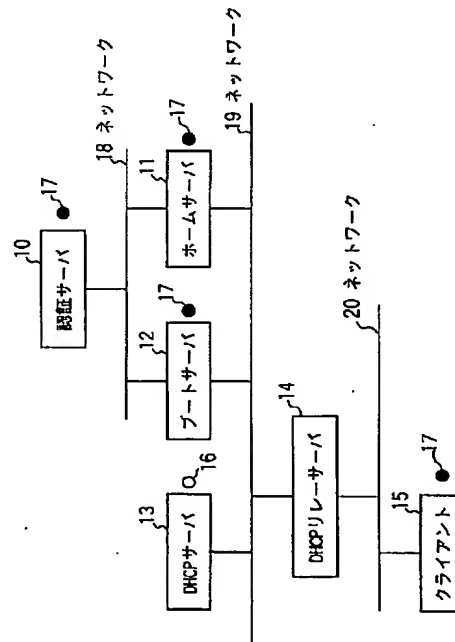
(74) 代理人 弁理士 鈴江 武彦 (外6名)

(54) 【発明の名称】 計算機システム、及び計算機システムのクライアント計算機の起動制御方法

(57) 【要約】

【課題】本発明は、クライアント-サーバシステムに於いて、クライアントの立ち上げ時に必要な起動ファイルを柔軟に決定できることができ、かつ安全性の高いブートの実現を提供することを課題とする。

【解決手段】クライアント15の立ち上げ時、DHCPサーバ13へ起動ファイルを請求するためのDHCPパケット16を送信する際、Javaエージェント17を付加して送信する。Javaエージェント17は、他のサーバへ自分自身を転送、コピーし、エージェント同士が互いに通信しあい起動ファイル作成に必要な情報を取得する。ブートサーバ12のJavaエージェント17は、取得した情報により起動ファイルを作成する。



が高く、かつ柔軟なブート手段を有する計算機システム、及び計算機システムのクライアント計算機の起動制御方法の提供を実現できる。

【0037】なお、上記実施形態では、認証やブート等の各機能を各々サーバ別の計算機で行っているが、一つのサーバ計算機で行っても良いことは勿論である。

【0038】

【発明の効果】以上詳記したように本発明によれば、クライアントからサーバへのブート請求パケットにエージェントを付加し、このエージェントが自分自身を認証サーバ、ブートサーバ等の各サーバへコピーし、コピーされたエージェント同士が互いに通信を行い必要な情報を得ることにより、ブートファイルを柔軟に決定することができ、かつ安全性の高いブートの実現を容易にする。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施の形態に係る計算機システムの構成を示すブロック図。

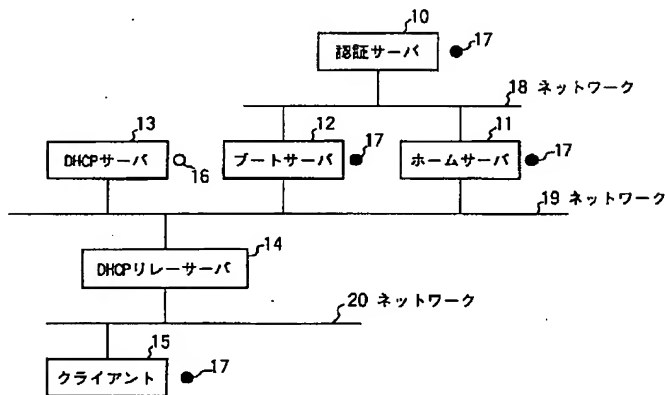
【図2】同実施の形態に係るDHCPパケットの持つ情報を示す図。

【図3】同実施の形態に係るクライアント立ち上げ時のブートファイル決定までの処理動作を示すフローチャート。

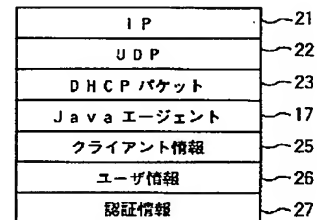
【符号の説明】

- 10…認証サーバ
- 11…ホームサーバ
- 12…ブートサーバ
- 13…DHCPサーバ
- 14…DHCPリレーサーバ
- 15…クライアント
- 16…DHCPパケット
- 17…Javaエージェント
- 18, 19, 20…ネットワーク
- 21…IP
- 22…UDP
- 23…DHCPパケット
- 25…クライアント情報
- 26…ユーザ情報
- 27…認証情報

【図1】



【図2】



【図3】

